

# いきもの記

Vol.139 2025.4.17

生物教員 佐藤龍平

## 報文を出してみた①東京蜘蛛談話会への参加裏話 校庭で発見！江東区初のトゲグモ

いきもの記を書き始めたのは2020年6月で、コロナで遠出もできないし、校庭を散歩し始めたのがきっかけだった。その年の7月、校庭脇の少しだけ木が生えているエリアで、**たまたまトゲグモを見つけた**。当時全くクモに詳しくなかったので（今も詳しくないけどこの時よりはマシになった）、「へー、格好いいクモだなー」という程度の感想しか持たず、何の気なしに写真だけ撮っておいた。のちに生き物に詳しいリュウセイやくモ好きのリホにこの話をしたら、「**なんで採集しておかなかったんですか！！**」と怒られた。やっぱり都会にいるタイプのクモではなかったか…。東京都レッドデータブックにも載っていて、“日本では稀産種で、分布が局限され、個体数も多くない。湖沼の周囲や溪流沿いなどに多い”と書いてある。はたして、なんで校庭なんかにはいたんだ？慌ててまた探すも、それ以降全く見つからなかった。5年たった今も同じ場所を探しているのが見つからない。ビギナーズブラックというのは恐ろしい。



**発見場所** ランニングロード脇のなんてことない場所だ。ちなみに、校庭内で比較的珍しい生物は、これまでもいくつか見つかっている（アリヤドリバチ (Vol.33)、ショウリョウバッタモドキ (Vol.38)）。校庭も侮れない。

前号でも言った通り、珍しい発見をした場合は**報文**を出した方が**良い**。ただ、素人にとって一番難しいのが、**その発見が本当に世に出すべきものなのか判断できない**ことだ。そんなこんなでお蔵入りしていたのだけれど、リュウキュウベニイトトンボを月刊むしに投稿したのを機に、久しぶりにこのトゲグモのことが気になった。よく分からないなら聞くしかないと思って、**思い切って「東京蜘蛛談話会」に入会してみた**。12月の総会に参加したところ、そこには名だたるクモ研究者がズラリ。すごいところに来てしまった…とドギマギしたが、思いの外アットホームで皆さんとても優しくった。その印象をそのまま伝えたところ、研究者のスズキさん曰く「クモ研究者は多くないから、こじんまり仲良くやっています」とのことだった。ぼく自身、超偏見だが「**クモ界隈の人は優しい**」と勝手な印象を以前から持っていた。某SNS上でクモに関する質問を何度かしたことがあるのだが、クモの研究者が直々に答えてくれることが度々あったのだ。

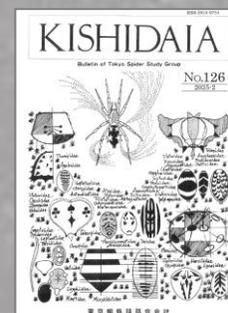
話が逸れているが、脱線ついでにもう一つ。この総会では冒頭で参加者の自己紹介をした。ぼくは「クモ好きの生徒の影響で自分も興味を持ち始めました」と話した。そして、その少し後に**髪が緑色の奇抜な兄ちゃん**の番で「先ほどの佐藤先生が言っていたクモ好きの生徒の一人です。」と話し始めて心底驚いた。**卒業生のカトリンじゃないか！**まさにぼくがクモに惹かれるきっかけを作った生徒の一人だ。彼に関してはたくさんの逸話があるが、修学旅行で台湾からクモを持って帰ろうとして担任団でこっぴどく説教したのが懐かしい。こんなところで出会えるとは。とても嬉しかった。

話を戻すが、この東京蜘蛛談話会の総会で江東区でトゲグモを見つけたことを伝えたら、やはり珍しいようで、報告を勧められたため、この会の会誌『KISHIDAIA』の126号に掲載された。学校の校庭も捨てたもんじゃな。総会でお会いしたハエトリグモハンドブック著者のスグロさんには、「**学校や公園でも新種のクモが絶対いますよ**」と言われた。俄然やる気が出る。蜘蛛談話会にも入っちゃったし、誰か一緒に本気でクモやりませんか？



科学技術高校の校庭脇で見つかったトゲグモ *Gasteracantha kuhli* のメス 2020.7.10

これまでに東京都内では、西部の奥多摩町、八王子市、青梅市、町田市、及び区部では練馬区の1町3市1区で記録がある。東部の都市部である江東区では初めての発見例と思われる。東京都レッドデータブック2023年版では、「情報不足 (DD)」されている。珍しさもさることながら、見た目がとてもカッコいい。高尾山に行くと結構普通に見られる。



東京蜘蛛談話会が発行する『KISHIDAIA』126号の表紙(左)と学校のトゲグモが掲載されたページ(右)

KISHIDAIAはオンラインでも無料で見ることができ。